

# 押原小キャリア教育通信 第6学年

## 第12号 25.12.18

12月13日(金)17日(火)に「杉浦医院」へ見学に行きました。11月28日(木)の道徳の授業で「地方病」について知り、杉浦健造氏、三郎氏の偉業を学びました。そのまとめとして、実際に診察をしていた場所等を見て、地方病撲滅への熱い思いを肌で感じるにより、より具体的な学習をする機会としました。

### 地方病から学ぼう

【ねらい】

- ・地方病について、地域特有の病気があったことを知る。
- ・医師としての職業について、基礎知識を得る。
- ・杉浦親子の尽力を知り、先人の偉業を学ぶ。

源氏蛭の幼虫を触ったよ！



詳しいお話を聞くことができたよ。



瓦の枚数は115枚、これは、何を意味しているのかな？

昔の建物がそのまま残っていたよ！



この「杉浦医院」を見学させていただき、苦しんだ人々とその治癒に全財産をなげうった杉浦医師の姿が浮かび上がるようでした。子ども達にとって、地方病といってもなかなか実感がわかかなかった子もいたと思いますが映像や話の中で、イメージを具体化しようとする意図を感じました。感想の中で「もし、今の時代にそんな病気が出たら、本当に恐ろしい」「自分のお腹があんなにふくれることを考えると怖い」といったものがありました。頑張ってくれた先人のためにも、今を懸命に生き抜く努力をしていきたいですね。

この場所で患者さんを診ていたのだな・・・

